

令和元年第3回中津川市議会「定例会」  
一般質問通告表

令和元年6月13日(木)・14日(金)

質問日	順序	質問事項	質問者	答弁を求める者	発言所要時間 (質問方法)
6 月 13 日	1	1. 新斎場建設の現状と今後について	島崎保人	市長 総務部長 市民福祉部長	20 (一問)
	2	1. 豚コレラについて 2. リニア新幹線建設について 3. 市民病院について 4. 坂下診療所の一般病床復活などについて	木下律子	市長 農林部長 リニア都市政策部長 病院事業部長	40 (一問)
	3	1. 行政サービスについて 2. 行政改革について 3. 若者の地元定着・移住促進の強化について 4. 外国人労働者の支援について	牛田敬一	市長 市長公室長 総務部長 定住推進部長 市民福祉部長 商工観光部長	25 (一問)
	4	1. 子どもの上履きと運動の現状について	田口文数	市長 教育長 教育委員会事務局長 リニア都市政策部長	25 (一問)
	5	1. 斎場建設について 2. 坂下診療所～市民病院間の直通バス運行について 3. 高齢者の運転免許証自主返納後の支援について	粥川茂和	副市長 総務部長 定住推進部長 市民福祉部長 病院事業部長	40 (一問)
	6	1. 核となる観光拠点について 2. 核となる観光拠点を中心とした市内の魅力的な観光地づくりと広域観光について 3. 先取りの観光戦略について	水野賢一	市長 政策推進部長 総務部長 定住推進部長 商工観光部長 文化スポーツ部長 建設部長 環境水道部長	30 (一問)

6 月 14 日	7	1. 子育て支援について	鷹見信義	市長 教育長 総務部長 市民福祉部長	40 (一問)
	8	1. 中津川市災害に強いまちづくり計画について 2. 外国の方の防災対応について 3. 小学校・中学校の女性の先生のトイレについて 4. 小学校の防犯ブザーについて	糸魚川伸一	市長 市民福祉部長 商工観光部長 教育長 教育委員会事務局長 総務部長 文化スポーツ部長	30 (一問)
	9	1. 森林経営管理制度と森林環境譲与税について	三浦八郎	市長 農林部長	30 (一問)
	10	1. 中津川市の医療施設のあり方について 2. 児童虐待防止施策の充実について	大堀寿延	市長 教育長 総務部長 市民福祉部長 病院事業部長 教育委員会事務局長	30 (一問)
	11	1. 坂本こども園について 2. 保育士の確保について 3. 坂本小学校の教室不足解消と給食調理場の新設について 4. 通学路の安全について	黒田ところ	市長 総務部長 政策推進部長 リニア都市政策部長 建設部長 教育長	40 (一問)
	12	1. 最近のその他火災の発生状況と対策について 2. 当市の自然環境と再生可能エネルギー発電事業について	森益基	市長 総務部長 農林部長 建設部長 環境水道部長 消防長	25 (一問)

# 令和元年6月議会一般質問

令和元年6月5日  
島崎 保人

## 1. 新斎場建設の現状と今後について

### 【質問要旨及び背景】

中津川市におきましては、平成17年の合併時5つの斎場がありました。効率良い行政運営を図るための施設の統廃合、更には老朽化した施設の更新が必要であるということで、新市建設計画は勿論、市の総合計画においても「新斎場の建設」が記述の中に盛り込まれています。

平成21年には候補地選定委員会の立ち上げがなされ、候補地の選定、候補地での地元説明会等に積極的に取り組まれてこられた経緯がありますが、1つ目の候補地を断念してからは、候補地が2転3転し、今年の年明けころからは市の動きがなかなか見えないのが現状です。

そこで、以下質問させていただきます。

### 【質問】

#### (1) 新斎場建設の必要性について

新斎場建設については、合併時の新市建設計画から現在の市の総合計画に至るまで、「斎場の老朽化に対処するため、新たな施設の整備を行います。」と記載されています。また中津川火葬場は建設から44年が経過しています。

そこで老朽化と、必要性に関する質問です。

- ① 現斎場の直近5年間の維持管理費の状況は？
- ② 同じく直近5年間の修繕費の状況は？
- ③ 新たな斎場と現斎場の施設、設備等を比較した場合の、現斎場の課題は？
- ④ 現施設の課題を踏まえ、又新市建設計画及び総合計画に新斎場建設の記載があるのは、施設更新の必要性があるからと思いますが、現時点においてその必要性の程度をどのように考えているのか？

#### (2) 新斎場建設の財源について

総合計画に定める将来都市像の実現に向け、中期・後期事業実施計画の中で取り組む大型事業が山積している中、新斎場建設に向けても財源確保が非常に重要となってきます。

そこで質問します。

- ① 新斎場建設に対する国・県等の補助金等がありますか？
- ② 補助金等がなければ、合併特例債の活用が非常に有効と考えますが、合併特例債を活用した場合と、活用できなかった場合とでは、市の一般財源持ち出しにどれだけの差が出てきますか？  
例えば、新斎場建設の総事業費が20億円とするとどうですか？
- ③ 合併特例債の発行期限は、平成30年度に国が5年間の再延長を決定しました。そのため、中津川市においては令和6年度まで合併特例債を借りることができるようになったわけですが、事業の完了が令和6年度以降となる場合、合併特例債の借り入れはどうなりますか？
- ④ 新斎場を令和6年度に完成させるためには、逆算すると、いつまでに地元のご理解を得た上で候補地を決定し、どのような過程を踏んで令和6年度の完成となりますか？

### (3) 新斎場建設に向けての現状と今後について

新斎場は、新市建設計画及び総合計画に沿って、現斎場の老朽化に対処するため、新たな施設を整備する必要があります。

更には、市の財政の健全性を維持しつつ整備を進めるためには、合併特例債の発行期限内での事業完了が不可欠と考えます。

そこで質問です。

- ① 候補地の決定期限がせまっている現状の中で、候補地を決定するために、いつまでに何をしようとしているのか、今の動きを教えてください。
- ② 合併特例債が活用できなくなった時は、全て一般財源を活用してでも斎場を建設するのか、現斎場の修繕等を繰り返しながら可能なところまで使っていくのか、どのように考えていますか？
- ③ 今現在、市の動きがなかなか見えないのは、新斎場建設の必要性を感じていないのか、又は建設しようという意欲がないのかと感じてしまうところですが、その市の動きがなかなか見えてこない要因、そして要因に対する対処方法の考えがあれば教えてください。
- ④ 最後に、新斎場建設に対する市長の思いをお聞かせください。

## 6月議会一般質問

市議会議員 木下律子

### 1、豚コレラについて

岐阜県で豚コレラが発生して9か月になります。

#### (1)養豚農家の営業継続について

- ① 豚コレラとはどんな伝染病ですか。
- ② 中津川市でも豚コレラの陽性反応を示した野生イノシシを捕獲し、死亡したイノシシがみついています。伝染力の強い豚コレラに罹ったイノシシが養豚場の豚に感染しないように対策をとっておられると思いますが、どのような対策をとっていますか。
- ③ 農水省は感染リスクの高い地域の養豚場に「早期出荷」させ、一旦豚舎を空にして、まん延を防止する方針を示していることについてどのように思いますか。
- ④ 農家も獣医師もワクチン接種を求めていますか、どう思いますか。
- ⑤ 発生した農家への支援について、現在の支援策で農家が再開できますか。どのように思いますか。

#### (2)養豚場への住民の要望について

恵那市毛呂窪で豚コレラが発症し、約1万頭を殺処分・埋却した養豚場について、隣接している蛭川の住民から「臭いがひどすぎる。50年我慢してきた」「再開しないでほしい」という声が上がっています。岐阜県と協力して取り組んでほしいとの声があります。

- ① 緊急対策として、
  - (ア) 殺処分・埋却したが、現在は収まっているが、埋却地下部から用水に真っ赤な血と思われるような汚水が流れ出て、生臭い異臭がした。汚水発生の原因は何か、対策は取られたか。
  - (イ) 大バエが異常発生している。原因は何か。どんな対策を取られたか。
- ② 再開に当たって、
  - (ア) 1万頭もの汚水処理施設になっているか。
  - (イ) 臭気対策は取られているか。
  - (ウ) 飼育数に応じた埋却地は確保されているか。
- ③ 再開に当たっては、住民の合意が得られるまで再開を認めないよう県に求めてはいかがですか。

### 2、リニア新幹線建設について

#### (1)山口トンネルの崩落事故について

4月7日に起こった崩落事故について、鉄道運輸機構が原因と対策を報道発表しました。

- ① 中津川市に説明があったと思いますが、その内容を伺います。
- ② 崩落場所の上流部には立派な砂防ダムがあり、砂防指定地域になっている。もともと崩れやすい場所であり、地層は花崗岩が堆積しているし、地表10~12mは土石流の堆積層になっている。阿寺断層の近くでもある。鉄道運輸機構も「工法が間違っていた」と認めている。環境影響調査が杜撰だったのではないか。近くには民家もあり、今回は民家に影響がなかったからよかったものの、市民が生活する場所での工事です。環境影響調査のやり直しが必要ではないでしょうか。

#### (2)瀬戸トンネルのヤード建設について

- ① 建設現場は木を切り、山を削って、岩を砕いての作業をしています。道路に面しているので山土が高く積まれています。これから梅雨時期になりますが、山土が流れて小さな側溝はすぐ埋まるでしょう。土が流れ出ないように土留めや排水対策が必要だと思いますが、いかがですか。
- ② 次々にトラックに残土を積み込み、岩を砕き、山を整地しています。埃もすごいです。防塵対策が必

要だと思いがいかですか。

### (3) リニア新幹線専用の高圧送電線について

高圧送電線について高山地区から平成30年12月議会に陳情が出されました。

- ① 蛭川地区でも高圧送電線建設について地域住民が電磁波による小児がんや景観について大変心配しています。リニア専用の高圧送電線を新たにつくるのではなく、関西電力送電線を利用できないかという要望があります。蛭川に現在関電の鉄塔が立っている家の方に関電の社員が「関電の送電線は老朽化し、建て替えが必要」との説明があったとのこと。そこでその方は「関電の建て替えに合わせて中電が計画しているリニアの送電線をのせられないか」と質問したところ、「中電から話があれば、応じることはできるのではないかと、中電からの話はない」との返事だったそうです。そこで地域住民の話し合いの結果、「建て替えに合わせて、併架すれば2つの送電線は必要ないので景観や電磁波の対策にもなるし、2020年から発送電分離の法律が施行し、送配電分社化になるのであればさらに都合が良い。経済的にも有効ではないか」と話し合いの結果、このことを要望していこうと決まったそうです。このことについて市としてはどう思われますか。
- ② 今年2月に市役所から「いろいろ話が食い違っているので、中電・JR東海・住民・市役所の4者で話し合いができるようにしましょう」とのありがたい話があったが、中電が拒否し実現できていない。中電は「説明会はするが、話し合いはお断り」ということです。これで住民の理解が得られるでしょうか。もう一度4者の話し合い、あるいは中電が無理ならまず3者の話し合いが必要ではないでしょうか。いかがですか。

## 3、市民病院について

### (1) 市民病院の医師の働きすぎについて

- ① 4月NHKで「医師の働きすぎ」を取り上げ、中津川市民病院の医師の一日を追う番組でした。その医師は仕事熱心で患者に親切な対応しておられた。しかしその日は12時間労働。翌日は日勤で朝早い。その医師は30時間ぶっ通しで働くこともあると言っておられた。テレビでは中津川市民病院は過労死ラインの960時間を超える医師は3分の1と報道しました。このテレビ報道についてどのように思われましたか。
- ② 常勤医師の昨年度の時間外労働の一覧表をいただきましたが、960時間を超える医師は8人で19.5% 約2割。最も多い時間外が1513時間、2番目が1403時間、3番目が1294時間です。医師も人間です。医師は疲れなくて不死身ではありません。医師以外の労働者の時間外上限時間720時間以上は17人で43.6%です。時間外労働しても時間外がつかない幹部の方が4人です。幹部を除くと48.5%となり、約5割の方が720時間以上の時間外労働。テレビでは外科医の8割の方が医療ミスは働きすぎが原因と答えているとの報道もありました。改善が必要ですが、どのように改善しますか。

### (2) 駐車場不足について

駐車場に止められない。困るとの声があります。改善が必要と思いますが、いかがですか。

## 4、坂下診療所の一般病床復活などについて

坂下病院が4月から19床の有床診療所となりました。ロビーや総合受付の待合の椅子にはほとんど座っていません。寂しくなりました。

### (1) どのように変わったのか質問します。

- ① 入院患者数はどうなりましたか。昨年10月と今年4月で比べてください。

- ②外来患者数はどうなりましたか。昨年10月と今年4月でくらべてください。
- ③医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師など職員数はどう変わりましたか。昨年10月と今年4月で比べてください。
- ④医療機器の引き上げはどうなりましたか。

## (2)透析患者の給食・ヘルストロン再開・シャトルバスについて

- ①透析患者の給食が出なくなった。交渉の結果、普通食の弁当を買っていると聞きましたが、透析患者は腎臓が悪いので食事制限などあるはずですが、普通食の弁当で大丈夫ですか。
- ②「ヘルストロンを再開してほしい」多くの方から聞きました。再開するが、少し待ってほしいと聞きました。再開のめどはつきましたか。
- ③ 無料シャトルバスについて、行きはよいが、帰りが乗れない。帰りも乗れるようにしてほしいとの声がありますが、いかがですか。
- ④ 山口からも乗れるようにしてほしいという声もききました。いかがですか。

## (3)一般病床復活について

Aさん4月中旬肺炎の治療は終了し、坂下病院に移った。治療は何もしない。亡くなった。

Bさん 64歳女性 がんで県立病院にかかっていた。卵かけご飯くらいしか食べられなくなったので市民病院に行った。総合内科で診てもらったが、わからない。口腔外科ではどこも悪くない。K耳鼻科に行く。東濃厚生病院を紹介され、バリウムで検査したが呑み込めない。市民病院の脳外科に行った。入院の必要はないと言われるが、モノがのどを通らないので入院をお願いした。脳出血していた。胃ろうで食事をとれるようにし、退院の準備をしていた矢先に急変して死亡。

Cさん体に麻痺。訪問リハビリを受けているが、在宅医療に不安がある。市民病院には通えない。

Dさん救急車で市民病院へ、しかし診てもらえず、恵那市立病院へ。受けてもらえず、下呂病院を紹介されたが、付き添いの方が通えないので、自宅へ？

坂下診療所は19床あるが、2人か3人の入院のみで看取り患者です。

「坂下診療所に一般病床5床でも6床でもいいので」というのが、多くの方々の願いです。坂下診療所の一般病床の復活の願いにどう応えますか

2019.06.05

牛田 敬一

## 1. 行政サービスについて

この度の選挙において、市民の方と意見交換したなかで頂いた意見・要望について質問します。特に市民が接する窓口業務は、以前と比べれば改善されていると思いますが、更なる改善を期待して伺います。

### （1）窓口業務について

- ①窓口業務でキーワードとなる「ワンストップサービス」は、数年前より承知していますが、福祉関係部署で改善が図られていると答弁がありますが、具体的にどのような所を改善されましたか。
- ②手続きや問合せに対応する手順書（標準書）はありますか。
- ③市民に分かりやすい資料が窓口で提示できる状態になっていますか。
- ④電話交換業務の現状を把握されていますか。

### （2）死後に遺族がすべき手続きについて

平成30年の中津川市統計資料によると1日あたり2.9人の方が亡くなられております。大切な家族を失って、遺体搬出から葬儀の手配など矢継ぎ早に決めないといけないことがあり、さらに行政や金融機関に届け出る書類がいくつもあります。その中で死亡した家族の行政に関わる手続きが多く、親しい人を亡くしたばかりの遺族には、心身ともに負担が大きいとされています。

- ①中津川市の死亡に関する手続きが必要な課等は、市民課・環境施設建設推進室・保険年金課・税務課・子ども家庭課・社会福祉課・介護保険課・上下水道料金センター・健康医療課等に及びますが仮に高齢者が亡くなった場合、最低限必要な書類は、何種類となりますか。
- ②死亡に関する手続きに対応する時間を把握されていますか。（各課の平均時間等）
- ③手続きの中で、よくある質問や勘違いされやすい項目などは、把握されていますか。
- ④ある自治体では、死亡届の手続きに特化したお悔やみコーナーを開設して、ワンストップサービスに取り組んでいます。一例を申し上げますと市民課から死亡の情報をお悔やみ係が受け取るとその情報を予め準備し、当事者が来庁されたら各課にデータの照会が回るようになっており、高齢者と子どもでは申請内容が異なるよう、申請が必要な課とそうでない課を判別し漏れがないように対応しています。このような対応を中津川市でも検討する考えがあるのか伺います。

## 2. 行政改革について

行政サービスの質を向上させるには、行政改革が重要であることは言うまでもありません。働き方改革が進められるなかで、更に効率的な事業の取組みが必要となります。

- ①先ほど質問した死亡手続きの改善は、若手職員による提言から展開したもので以前、中津川市も「かやの木政策塾」がありましたが、現況を伺います。

- ②平成27年12月に行政改革に関する項目で公用車の台数を質問した際、500台との答弁があり平成30年6月では493台に削減したと答弁されましたが、その後の経過（台数・維持管理経費）と今後の予定を伺います。

### 3. 若者の地元定着・移住促進の強化について

高校生、大学生などの地元就職に向け、地元企業の良さや農林業への就業支援策などをPRするとともに、企業、学生双方の就職活動を応援するとあります。

#### (1) 高校生の就職状況について

- ①平成27年の状況では、市内就職者は約130名と認識しておりますが、平成28年以降の推移を伺います。
- ②高校生、大学生などの市内就職者の増加に向けた取組みや考え方を伺います。

#### (2) 高校生やその保護者対象の就職・定住情報の提供について

- ①高校生やその保護者対象の就職施策について伺います。
- ②高校生やその保護者対象の定住情報の提供について伺います。

### 4. 外国人労働者の支援について

市内企業では、外国人の方を雇用し人材不足を補っている反面、地域では生活習慣やゴミの分別等、認識の違いがあり地域住民との共生が重要となってきます。外国人に対する一般的な教育や災害避難等の内容について伺います。

- ①市内で開催されている日本語教室の状況について伺います。
- ②外国人居住者に対する災害対応の取組みを伺います。

以上

それでは、発言通告に基づきまして、一般質問をさせていただきます。  
時代も平成から令和と新しい時代となりました。中津川市も、新しい時代にふさわしく希望ある中津川市になるよう議会活動に取り組んでまいります。

今回は、大きく1点の質問をさせていただきます。

市民の方から相談を受けました。フットボールの漫画を読み、今の子ども達の成長を考えると今のままではいけないということです。  
それは、学校で毎日履く上履きが体に良くないということです。いろいろと調べてみましたが、普段から履く靴や上履きが大変に重要とわかりました。  
小学生になっても土踏まずが、ほとんどない子どもが増えている。  
大人の女性のように、外反母趾が悩みの小学生が増えている。  
足に障害を抱える子どもたちが、増加しております。

靴は子どもの足の発育発達を助けてはくれません。あくまでも「子どもの足の成長を阻害しないこと」が大切なのであります。アーチの形成やしっかりとした骨格、筋肉を作るには、活発な運動が何よりも大事であります。

運動は足の形成だけではなく、運動神経の発達や脳の発達などにも大きな影響を及ぼすといわれています。

成長が早い子どもの足。どうせすぐ大きくなるのだからとって、大きめの靴を選んでいませんか。また靴が小さくなったのに、無理をして履かせたままにしている、子どもが少しでも痛がったら、それは靴が小さくなったサインです。合わない靴を履いていると、子どもの柔らかい足は変形し、歩き方まで変わってしまう危険があります。大切な子どもの足には、サイズの合った靴を履かせてあげることが重要です。  
それでは、質問です。

## 1. 子供の上履きと運動の現状について

- (1) 現在中津川市の学校の上履きは、指定にされておりますか、お伺いします。
- (2) 学校によって、上履きは違うのですか、お伺いします。

(3) 私がまだ小学生の頃は、裸足で学校生活を送っていましたが、今は必ず、靴、上履きを履くことになっております。怪我をすとか衛生面、緊急対応で裸足にならなくなったのでしょうか、お伺いします。

(4) 子どもの足がしっかりとした「大人の足」になるのは、18歳頃。12歳頃に、「大人の足」のほぼ原型ができてきます。子どもの足の変形は、浮き指のほか、扁平足や小指が大きく内側に曲がる内反小趾も多く、外反母趾もある。足の変形を生むような足の使い方は大人になってからは直しにくい。幼児期から小学校高学年までに、足が変形しないよう健康な足の成長のために、児童の足の検診等はされはいかがですか、お伺いします。

(5) 災害が発生した時や不審者が学校に侵入した場合、子供たちを早急に避難させなくてはなりません。地震で割れたガラスの上を歩かなくてはなりません。東日本大震災後の東北の学校では避難訓練で、上履きをはいたまま近くの高台に全生徒が走って避難をしているそうです。中津川市の避難訓練は上履きをはいたまま避難されていますか、お伺いします。

#### (6) 上履きの選び方の基準

足は体重が掛かると、長さも、幅も、多少長くなったり、広がったりします。また歩く時、足は蹴り出すように運動します。そのため靴には爪先の余裕が必要であり、その余裕を活かすためには、靴の踵が足の踵をしっかりホールドし、横ブレをふせいでくれることが不可欠です。そして靴底がしっかりしていて衝撃を吸収するのがいいそうです。

今までの質問をふまえて、学校の上履きを子供たちの成長のために、足に合った良い上履きに変更を検討してはいかがですか、お伺いします。

(7) 子どもが毎日履く靴はもちろん、被服についての責任者は保護者であり、選択や購入など、教育に関わる部分以外の全権は、保護者にあります。合わない靴を履き続けることで、足の成長や運動機能が妨げられることなどをしっかりと保護者が認識する必要があると思います。周知徹底をお願いしたいのですが、いかがでしょうか、お伺いします。

(8) 子どもたちは昔の時代の子供たちに比べると体力が落ち、運動能力も衰えていると言われます。それは生活環境の変化や大人の都合などさまざまな要因があります。運動量が減っているのは大人が原因になっている場合もあります。

文部科学省のデータで 20 年前は平均 23,000 歩が、今は 13,000 歩に減少しているとありました。

登校、下校は親の送り迎えにより、歩くことが少なくなり、家でゲームをやり外で遊ばなくなったのが原因とされています。

歩いて運動することにより、運動神経や脳の活性化になります。

しかし、遠い家の子どもは距離があり大変ですし、今の時代は何があるかわからない安全性が確保できない状況で、保護者としては不安であります。

子ども達の運動不足や運動能力の低下をどのように考えておりますか、お伺いします。

(9) 歩く運動が大事として質問したばかりですが、これから坂本地域はリニアに関連した工事が本格的に始まります。保護者の中には、子どもの安全性のためにスクールバスを走らせてほしいとよくお聞きします。

今後、子どもの安全確保のための対策はどのように考えてみえますでしょうか、お伺いします。

## 参考資料

このタイプの靴だと、もし災害が起きた時の避難が非常に困難らしいです。

すぐに脱げるし転びやすいから。

非常事態に備えるためにも、しっかりした靴を選びたい。

また、このタイプの靴だと、踵と甲がゆるゆるだから、足の指が使えない。

足の指ではなく拇指球あたりを使って歩く。

そうすると、浮き指になったり外反母趾になったりとなる。

腰痛の原因にもなるそうです。



現在の上履き



足に良いとされる上履き

良い子供靴の必要条件 良い靴が子供の潜在能力を高めます。脳の活性化、集中力にも影響する靴選び ●つま先部が大きく 5 本の足指が自由に動かせるもの。 ●かかと部が固くしっかりしているもの。 ●靴底は足の曲がる位置で曲がるもの。 土踏まずの形成が遅れ、扁平足の子供たちが増えています。 足裏のアーチは通常 8~10 歳の頃になるとほぼ完成します。 このアーチが健全に形成されないと正しい歩行ができず将来、身体の成長にも影響を及ぼします。 運動すると足には体重の何倍もの衝撃がかかります。 この衝撃が繰り返される事によって足の裏やカカト、つま先の痛み、アキレス腱、スネ、膝、腰の痛みとなり、また骨折したりする事があります。

無会派 粥川 茂和

1. 斎場建設について
2. 坂下診療所～市民病院間の直通バス運行について
3. 高齢者の運転免許証自主返納後の支援について

1. 斎場建設について

選挙活動中に市民から頂いた質問を行う。当市の各斎場は老朽化と分散で財政負担が課題であるが、最大規模の中津川斎場の新築が現在地での地元理解を得られず、新規建設場所の選定は遅々として進んでいないため、以下の質問を行う。

(1) 当市の考え方について

- ① 地域では最寄りの斎場を残してほしいとの要望があるが、新斎場の完成後、付知、坂下斎場の活用をどのように考えているか？
- ② 最寄り斎場を存続要望する理由は、葬儀会場から斎場までの移動距離が伸びることであるが、どのように理解を求める考えか？

(2) 建設場所の決定について

- ① 新斎場の建設場所は、苗木地域が望ましいとしていたが現在の状況は？
- ② 新斎場の完成期限目標があるか？

2. 坂下診療所～市民病院間の直通バス運行について

本年4月現在坂下診療所の診療科のうち呼吸器内科、神経内科、婦人科、皮膚科、血管外科、脳神経外科が市民病院に集約された。その結果、市民病院に通院することになった患者は、一日当たり約17人だ。

そこで4月から試行中の坂下診療所、市民病院間のシャトルバス運行について質問する。

(1) シャトルバスの利用状況について

- ① 現在の利用実績はいかほどか？
- ② 利用者数の予測方法は？

- ③ シャトルバスを利用しての通院者には、入院中の伴侶を見舞う高齢者も考えられるが、実態を把握しているか？
- ④ エリアトークによる、本件の放送内容と回数について承知しているか？
- ⑤ 本件について、地元の説明や相談をしたか？
- ⑥ 今回の対応は、市民に寄り添ったものでないとの感想を持つが、所見は？

(2) 診療科の集約計画と市民病院への通院者増について

- ① 診療科の集約計画の内容と実施時期は？
- ② 坂下診療所から通院先が変更になり、市民病院通院者が増加することへの対応方策は？
- ③ 現在試行中のシャトルバスの運行期間の予定は？
- ④ 試行期間終了後の考え方は？

(3) 市民から聞いた話の真偽について

独居の高齢者が深夜、自ら要請した救急車で市民病院に搬送されたが、診察の結果異常無く、当然入院の必要もなかった。しかし通院の状況から、裸足で、現金も所持しておらず、やむなく病院ロビーのベンチで朝を迎えたそうだ。「市民病院はかわいそうなことをする」と聞いた。

- ① 本件の真偽は？
- ② 本件と類似ケースには、どのような対応が考えられるか？

3. 高齢者の運転免許証自主返納後の支援について

高齢者の運転ミスによる事故が後を絶たない。運転免許証の自主返納を促す世論が高まっているが、中山間地域ではそうできない事情がある。

過去の一般質問で、当市内 75 歳以上の運転免許証所有者は、平成 28 年 9 月現在で約 3,400 人、同年代の 26%との答弁記録があるが、交通事故リスクを抱える高齢者の人数は、増加していると推察する。

- (1) 高齢者の運転免許証自主返納について、H28 年 12 月議会一般質問答弁で、「相談体制を整えている」とあるが、その他、市は何をなすべきと考えているか？
- (2) 運転免許証自主返納者の具体支援策について

- ① 岐阜県タクシー協会の制度で、貸走料金の一割引があるが、当市独自の支援についてどのように考えているか？
- ② 交通システムなど、先進事例などの研究を進めているか？
- ③ 地域と問題意識を共有し、解決方法を協議する考えはあるか？

以上

## 一 般 質 問

令和元年6月5日提出 水野賢一

それでは、通告に基づきまして一般質問をさせていただきます。

そのまちの元気さの指標といえば、やはり移住定住人口と交流人口ではないでしょうか。住み暮らしている人がたくさんいるまち、訪れてくれる人がたくさんいるまち、こういったまちには活力を感じ、未来に向けて大きな期待が持てます。

そこで、今回は交流人口というキーワードのもと、広域観光を視野に入れた観光産業としての確立への仕掛け、戦略について質問をさせていただきます。

市内への交流人口につきましては、中津川市総合計画を基本理念とし、リニアのまちづくりビジョン、観光振興ビジョンに基づき各種施策を実施され、その成果は確実に現れてきております。市内への観光入込客は、平成30年集計では、約456万人を数え、ここ5年間で20.6%も増加しており、市当局の取り組みに対し、敬意を表するところであります。

特に苗木城跡は、広報なかつがわの「こんなところに！？なかつがわ」の市長投稿でもいち早く取り上げられたように、市長さんの強い思い入れとトップセールス、そしてマスコミや旅行誌への取り上げ等が相まって、今では全国でも注目のあつまる、中津川が、そして岐阜県が、世界に誇れる宝物になりつつあると思います。市内には数多くの観光名所がありますが、苗木城跡と馬籠宿は、この地域の核となる観光拠点であるということは、間違いないと思います。

中津川市を訪れる観光客の動線としては大きく言って、苗木城跡方面の257号沿線と馬籠宿方面の19号沿線があるかと思えます。その沿線には豊富な観光資源がたくさんあり、市内全体の観光資源の磨き上げはもちろん大切ですが、まずは核となる観光拠点の徹底した磨き上げに取り組み、そこを中心とした魅力的な観光地づくりに取り組み、地域経済を支えられるような「観光産業」として、成立させていく必要があるかと思えます。

苗木城跡と馬籠宿とを比較した場合、入り込み客については、平成30年集計で、苗木城跡が約88千人、馬籠宿が667千人と大きな差があり、このことから、馬籠宿はすでに成熟した観光拠点であると言えるでしょうし、苗木城跡については、人気が先行しまだまだ発展途上にあるという感があります。そこで、今回は特に苗木城跡を核とした257号沿線について、質問をさせていただきます。

### 1. 核となる観光拠点について

- (1) 苗木城跡と馬籠宿を核となる観光拠点とし、そこを中心とした観光地づくりという考え方について、所見をお聞きします。

(2) 核となる観光拠点としての役割は何か？を考えた場合、その観光地が核となる観光地として相応しいように、周辺環境やおもてなしの部分も含めて、徹底的に磨き上げられ、十分な魅力があり、観光客の満足度を満たすことができること、そして、観光産業に結びつくようなお金が落ちる仕組みが構築されていること、さらには周辺の観光案内や広域での周遊について、しっかりとした情報を有し、それについて観光客のニーズに応じた情報発信ができる機能を有していること、という点になろうかと思いますが、所見をお聞きします。

(3) 苗木城跡の周辺環境、おもてなし、魅力度アップの観点から、磨き上げという点についていくつか質問をさせていただきます。

①周辺整備の観点から、従前から課題となっており、昨年11月に苗木地域まちづくり推進協議会からも陳情が出されておりますが、駐車場の整備については必要があるとの考えのもと、今後の整備計画についてお聞きします。

②苗木城跡のアクセスは車をはじめ、公共交通、歩きの3パターンがあると考えますが、それらの道路、歩道の整備計画についてお聞きします。

③更なる魅力度アップ、また付加価値を加えるという観点から、苗木城跡周辺一帯の散策道の整備、あるいは、ウォーカーニーズに応えるための新たなウォーキングコースの整備について、方向性をお聞きします。

④さくら公園側のトイレについては未だに汲み取り方式で、苗木城跡への観光客のための駐車場の活用、現在でも多くのウォーカーの往来、また、将来的には、さくら公園一帯をも含めた苗木城跡全体の新たな事業展開も見込まれ、年間をとおしての観光客の利用が予想されます。大切な観光客をお迎えするというおもてなしの観点からも上下水道の整備が必要と思われませんが、所見をお聞きします。

⑤おもてなしの観点から、現在でも地域のまちづくり推進協議会、城山を愛する会、苗木城跡・苗木遠山史料館友の会、城山レディース、苗木城跡を世界に広める会など、多くの団体に苗木城跡を盛り上げて頂いておりますが、今後の地域ボランティア団体との連携や協力体制のあり方について、所見をお聞きします。

(4) 次に、地域での活発な活動をお願いするにしても、肝心な地域にお金が落ちる仕組みづくりが必要だと考えます。以下についてお聞きします。

①駐車場をきちんと整備をした上で、有料にして、例えば地元で管理していただくことはどうかと思いますが、所見をお聞きします。

②観光客からは、お土産がない、食事や軽食を摂るところがないという声が多いと聞いております。現在は、城山レディースなどの地元ボランティアに頼っている現状で、苗木城跡を愛する皆さんの熱意のみで賄われております。例えば、出店に適する土地を見つけ、そこに長屋風出店をイメージするような常設の建物を地域と一体となり計画してはどうかと思いますが、所見をお聞きします。

③核となる観光拠点は、昔で言えば関所のようなものだと思います。257号沿線の観光ルートにおいては、北上する場合の最初の関所が苗木城跡、そして北から南下する場合は最後の関所が苗木城跡であってほしいと思います。そんな戦略が必要ではないでしょうか？所見をお聞きします。

(5) 情報発信についてお聞きします。情報発信機能としては、やはり核と成り得る組織（ハード、ソフト含めて）が必要になろうかと思いますが。平成29年12月の私の「周辺観光案内も含め、おもてなしの充実のために、将来的には観光案内所的な核と成り得る機能が必要ではないか？」という質問に対し「お客様のニーズ等に対応しきれていないのでは、と思っている。今後、周遊観光の案内などを行っていきたい。方向性について十分協議していきたい。」というご答弁がありました、その後の協議内容について、お聞きします。

## 2. 核となる観光拠点を中心とした市内の魅力的な観光地づくりと広域観光について

(1) 市内の至る所に多くの観光資源がありますが、それぞれの観光資源について、その周辺環境、おもてなし、魅力度アップの観点から市内全体の観光資源の磨き上げが図られればと良いと思います。市内全体の観光資源の磨き上げの方向性についてお聞きします。

(2) 市内全体の磨き上げに取り組んだ上で、点から面へと広がりを示し、どの拠点からも情報発信が出来るように、サブ拠点をおく必要があると思いますが、所見をお聞きします。

(3) 国道257号沿線と19号沿線には、豊富な観光資源が点在しています。257号沿線で言えば、苗木城跡を拠点に、常盤座、明治座、付知峡、ローマン溪谷、道の駅等がありますが、市内における滞在時間や観光消費の増加に繋げていくという観点から、このルートを活かした新たな旅行商品の造成や、お金が落ちる仕組み、また、客単価を上げる取り組みが求められます。その方向性について所見をお聞きします。

(4) 客単価を上げるという点では、当市において絶対的に不足しているのが、宿泊施設であります。誘致等も含めてその方向性について所見をお聞きします。

(5) 観光地を面的に捉え、広域での情報収集と観光客のニーズ、こだわりに沿った形、また付加価値を加えたパッケージ化に取り組み、内外に向け情報発信することが大切であると思います。そして、市域を超え、下呂、郡上、高山、飛騨へと広がる仕組みづくりが望ましいと思います。広域観光とは単に自治体の連携を意味するのではなく、広域に点在する観光地の情報収集、それぞれの魅力の把握を行い、広域の観光地を結び付けパッケージ化して売り込むことこそが広域観光であると思います。その方向性について所見をお聞きします。

(6) 国内市場はもちろん海外市場をも睨み、ノウハウを蓄積する中で、戦略的プロモーションを行うことが重要だと思えます。パッケージごとに、また対象者ごとにプロモーションを行うことも必要です。また、観光地ごとのあるいはパッケージごとのキャッチコピーも必要であると思えます。その方向性について所見をお聞きします。

(7) 情報発信を行う場合、国内一般誘客向け、海外誘客向け、旅行エージェント向け（個人向け・団体向け）メディア向け、旅行誌向け等の戦略的情報発信が大切であり、前述の観光地ごと、またパッケージごとのマトリックスで整理し、対応することが大切であると思えます。その方向性について所見をお聞きします。

### 3. 先取りの観光戦略について

(1) 早く具体的な戦略を立てて、それぞれの地域ともしっかり協議を行い、連携する中で一刻も早い様々な事業遂行が求められています。また、市でやること、地域でやること、市と地域で協力してやることをそれぞれがしっかり認識することが大切であります。その方向性について所見をお聞きします。

(2) 苗木城跡の人気については、今や目を見張るものがあり、ここを拠点に市内全域の観光産業の確立に繋げていく絶好のチャンスであります。鉄は熱いうちに打て、ということわざもあるように、今こそ、選択と集中という概念のもと、ハード、ソフト両面から先取りの観光戦略が期待されていると思えますが、その方向性について所見をお聞きします。

(3) 観光戦略について、幾つかの質問をさせていただきましたが、最後に市長さんの見解をお聞きします。

終わりになりますが、冒頭にも申しましたように、今後、観光産業というジャンルは総合産業として大変大きな期待が寄せられるであろうと思います。

国においては、「明日の日本を支える観光ビジョン」を制定し、「観光は、真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」として、国を挙げて「観光先進国」という新たな挑戦に踏み切る覚悟が必要であることを示しました。どうか、中津川市におかれましても、市長さんを先頭に、市を挙げて「観光先進都市」として新たな一歩を踏み出し、交流人口の拡大を図り、議会とも連携を図りながら将来に向け元気のあるまち、魅力あふれるまちづくりに引き続き取り組まれることをお願いをしまして、一般質問を終わります。

## 鷹見信義 6 月市議会一般質問

### 1、子育て支援について

#### (1)子どもの現状について

①子どもの人数の推移はどう変わっているか、10年前、5年前まで、今年一月一日でどうか（一八歳までの子供は）

②小中学校では普通学級で勉強している子供は何%になっていますか？

③小学校、中学校 35 人学級の実施が必要ですが、現在、市ではどこまで進んでいます？

④35 人学級を完全実施するには何が必要と考えられますか？

⑤小学校の統合の計画がありますが、地域の願いをどのように生かされますか？

令和 5 年 4 月には、福岡地域内の小学校が統合され、新しい校舎で小学校教育が出発することになっています。区民の方から寄せられている声は、一、四つの学校が続けてきた行事は何らかの方法で残してほしい。二、各郷土の歴史的遺産を初めとして郷土を知り合うことをしてほしい。三、現在ある学童保育は続けてほしい。四、給食は自校方式として実施してほしい。五、安全で安心して通学できる手段を確保してほしい。…です。

⑥35 人学級の体制を見通して準備が進められていますか？

#### (2)児童の安全について

歩道に信号待ちをしていた歩行者が、突然突っ込んできた自動車にはねられ死傷する悲惨な事故が無くなりません。

①通学路・通学時の安全確保のため対策どのようなことがされていますか？

西小学校では危険箇所マップ「ご存知ですか？～校区内の危険箇所～」を作製、みまわり散歩委員と父兄に配布して危険の除去に努めています。私の在住している手賀野上区では四人がほぼ毎日登校時に活動をしています。

②学校給食の食材安全に関し放射線量の検査と結果について

検査の時期・規模等と検査結果を報告していただきたいと考えますがいかがでしょうか？

③子供 110 番の家について

市内の子供 110 番の家は何件になりますか

家の方とはどのような意思統一がされているか伺います

#### (3)児童虐待防止につて

幼い命が虐待によって奪われるという痛ましい事件が後を絶ちません。親として、虐待ではなくしつけの延長であり、死に至ったのは事故だったと考えているケースも多いようです。これは体罰を容認してきた日本社会の特徴のようです。今、国の政策として家庭での親による教育が重視され、一方、コミュニティーの様々なつながりのなかで弱くなっています。親の責任を追及すればするほど、親に余裕がなくなり、ストレスを子供にぶつけてしまいま

す。親だけに子育ての責任を負わせていくような社会のしくみを変えていかなければいか  
ないと思います。

① この三年間、児童虐待で通報・相談を受けた件数は何件在りましたか？

② 準虐待・相談は何件になりますが、学校や保育園などの相談があった件数(集約される)  
はどれだけですか？

② 児童虐待(相談)で多い、原因を教えてください。

③ 相談体制はどうなっていますか？

④ 児童一時保護所は何カ所確保されていますか？

⑤ 県の方針になっている主要な市の相談体制を新しくつくることについて、中津川市で  
出来るのかお尋ねします。

⑦ 児童福祉士、児童心理士の専門家の配置はどのようになっているのかお伺いします。

(4) 社会的養護児童について

① 社会的養護を必要と思われる児童は昨年度は何人いましたか？

② 措置した社会的養護児童は何人いましたかお伺いいたします。

(5) 幼児教育・保育の無償化に関連して

① 給食費は実費負担になるわけですが、その分は市費で持つことはできないでしょうか  
お聞きします。

② 公立保育園の使用済みオムツの保育所での処分について。保護者の負担軽減の目的で、  
岐阜市は6月からオムツの公的処理が始まります。当市では現在どのように処理されてい  
ますか、保護者さんの持ち帰りならば、保育所処理にできないかお聞きします。

③ 幼児教育・保育の無償化の財源とされている消費税は、裕福な人には負担が軽くなり、貧  
しい人の負担は重くなる逆進性の高い税制です。「無償化」と言っても、給食費は徴収され、  
施設によっては実費徴収や上乘せ徴収(習い事など)あるため保育料より負担が重くなる世  
帯が生まれる可能性があります。当市の試算はどのようになりますか？

④ 消費税増税は見送り、財源も消費税とは切り離すべきだと考えますがいかがでし  
ょうか？ご所見を伺います。

(6) 子供の貧困対策について

岐阜県は県内で暮らす子どもの貧困化率と生活環境や学習環境の状況を初めて調査し、  
結果を公表しました。子ども相対的な貧困率は7.2%と判明。世帯所得が少ないと子ども  
の平日の学習時間が減少し、自己肯定感は低下する傾向が明らかとなった。県子ども課家庭  
課は「世帯所得で子どもに影響が出ていることが分かった。支援策を検討したい」としてい  
ます。

① この県の調査に対し、公表に対応するものがありましたら市の状況を公表していただ  
きたい

② 支援策が検討されているかと思いますが検討状況を教えてください。

## 一般質問

### 1 番 糸魚川伸一

#### 1. 中津川市災害に強いまちづくり計画について

中津川市災害に強いまちづくり計画第2期計画が策定され、先日発表となりました。市民は「自らの命をどう自分で守るか」、地域は「自分たちの地域を自分たちでどう守るか」など身近な取り組みも盛り込まれております。また、第1期の取り組み内容が検証され課題も明らかになっております。

そこで、お伺い致します。

(1) 災害に強いまちづくり条例 第16条では、各自主防災組織は避難マニュアルの作成に努めなければならないとなっております。行政として今後どのように各自主防災組織の避難マニュアル作成の進捗管理、また、啓発活動を進めてゆかれるご予定でしょうか。

(2) 防災教育の充実や地域防災の取り組みでは防災士の存在は大きなものであると思われまます。2017年末時点では322名の防災士がいらっしゃるとのこと。現在、何名の防災士がいらっしゃいますでしょうか。また、地域による人数のムラはございませんでしょうか。

(3) 今後、防災士をどの程度まで育成支援されるご予定でしょうか。

#### 2. 外国の方の防災対応について

現在、中津川市には多くの外国の方が働いていらっしゃいます。また、米国レスリングチームが中津川市で事前合宿を行うことが決まっております、選手をはじめ、サポーターの方を含め多くの外国の方が中津川にいらっしゃる事が予想されます。

そこで、お伺い致します。

(1) 外国人で中津川にお住まいの方が2018年1月時点では798名とのことですが、現在はどちらの国の方が何名いらっしゃいますでしょうか。

(2) レスリングの関連ではサポーターの方を含め、いつ頃何名の方がいらっしゃるご想定でしょうか。

(3) 昨年の台風21号や北海道胆振東部地震では、とりわけ外国人観光客には各言語での災害・交通・避難などの情報が十分でないなど大きな課題が残りました。災害に強いまちづくり条例第14条に対する実施計画14-9では、多言語での防災情報の発信は引き続き検討を行っていくとのことですが、具体的にどの様な検討をお考えでしょうか。

### 3. 小学校・中学校の女性の先生のトイレについて

先日、苗木中学校にて女性の先生のトイレが少なく困ってみえるとの伺い、直接学校でお話をお聞きしますと、最近女性の先生が増えていらっしゃる確かに数が少ないとのこと。

そこで、お伺い致します

(1) 中津川市内全体で小・中学校の女性の先生方のトイレは現在どの様な状況でしょうか。

(2) 絶対数ではなく、数が少なく困ってみえる学校については早急に増設や改良などで数を増やすことを求めたいと思いますが、今後どの様な予定で進めて頂けますでしょうか。

### 4. 小学生の防犯ブザーについて

現在、小学校一年生には防犯ブザーが無償で配布されております。不意に襲われた時には声も出せないため、ひもを引くだけで大音量が出る防犯ブザーはとても良いと先生からもお声をお聞きしております。しかし、いざという時に使えなければ意味がありません。

そこで、お伺いいたします。

(1) 入学時に防犯ブザーが配布はされるものの、その後、不携帯であるとか、電池切れや故障などといったことはありませんでしょうか。学校ではこうしたことは把握していらっしゃいますでしょうか。

(2) 全生徒さんを対象に鳴らす練習もかねて定期的に電池切れ・故障などの点検をお願いしたいと思いますが、対応についていかがお考えでしょうか。

## 令和元年 6月議会一般質問 三浦八郎

### 1. 森林経営管理制度と森林環境譲与税について

#### 【質問の経緯と趣旨】

6月2日に愛知県尾張旭市の愛知県森林公園で開催された第70回全国植樹祭に参加してきました。その式典にはこの5月に即位された天皇、皇后両陛下がご臨席されました。即位後初の地方行事で、天皇陛下は国民に丁寧な敬語表現を使い、一緒に緑化活動を推進するよう呼びかけるお言葉を述べられました。

お言葉の冒頭、陛下は「皆さんと一緒に植樹を行うことを喜ばしく思います」とあいさつされました。世界的な環境問題に関心を寄せる陛下は、健全な森林が地球温暖化防止などの役割を果たしていることに触れ、「私たちに様々な恩恵をもたらしてくれる国民共通の財産」と強調され、植樹などを通して森林を造ることは「私たちに課せられた大切な使命」と述べられました。このあと行われた植樹では皇后さまとともにスギやクスノキなど計6種類の苗木（この地区にも関係があるシデコブシやヒトツバタゴも入っています）を植えられました。70年間続く植樹祭を通じて森林を守ることの大切さを語られていたと思います。

その森林を守るために新たに令和元年となった今年度より、森林環境譲与税、森林経営管理制度が始まりました。経営管理が行われていない森林について、森林所有者と経営管理を行う「林業経営者」をつなぐシステムとして期待されています。その一方で、制度の運用に向けて、様々な課題も明らかになっています。特にこの制度の主役となる市町村側にとって今後の進め方や制度の実効性をどう高めていくかが問題となってきます。

#### (1) 森林環境譲与税について

- ① 中津川市の森林環境譲与税算定基準について伺います。
- ② 今年度の当初予算では森林環境譲与税は 37,279 千円になっています。今後の各年度の譲与額を伺います。
- ③ 今後の森林環境譲与税の中津川市としての活用方針について伺います。

#### (2) 森林・林業担当職員や林業技術者の不足について

- ① 中津川市森林・林業担当職員について、この制度に十分対応できるか伺います。
- ② この制度について、外部人材（専門的な知見を有する林業技術者）を活用（雇用）することについて伺います。
- ③ この制度について、森林・林業に携わる民間事業者への委託（アウトソーシング）について伺います。

グ) することについて伺います。

- ④ この制度について、森林・林業関係者、自治会など地域と連携し、新たな組織を設置するなど、制度に係る業務を進めることについて伺います。
- ⑤ この制度について、近隣の市町村や流域の市町村などと共同で事務処理を進めることについて伺います。
- ⑥ この制度について、市の体制を強化するための取組（研修等の実施）として職員のスキルアップのための研修や事務マニュアルの整備等について伺います。
- ⑦ 林業技術者についても高齢化が進み不足することが考えられます。中津川市としての取り組みと支援について伺います。

(3) 森林情報の整備について

- ① 意向調査等の実施に当たっては、森林の状況を把握・整理し、対象となる森林を選び出し、森林資源情報や施業の履歴、森林所有者情報について整理する必要があると思います。今後の進め方について伺います。
- ② 森林境界の明確化は森林の経営管理を進めていくことに必要不可欠です。今後の進め方について伺います。

(4) 中津川市の林業振興について

- ① 森林経営管理制度と中津川市林業振興ビジョンの整合性について伺います。
- ② 森林経営管理制度に対する中津川市林業委員の役割について伺います。
- ③ 中津川市では地域林政アドバイザーを配置されているか伺います。
- ④ 林業の経営管理や皆伐・再造林、自伐林家の取り扱いなど課題もあります。森林経営管理制度と中津川市の林業振興について、今後の進め方を伺います。

## 1. 中津川市の医療施設のあり方について

### (1) 中津川市の医療施設のあり方について

中津川市民病院と国保坂下病院(現在坂下診療所)において、新公立病院改革プランに関する事項を、多く議論を重ねていただきました。私は今回、中津川市の公共施設の現状を踏まえ執行部の皆さんのお考えをお聞きしたい。中津川市は1970～80年代に集中的に整備された建物設備が多く耐用年数を迎えます。今後大量の公共施設の更新(建替え)や改修が必要になると考えられます。市民生活の窓口を維持するための計画を早期に策定させる必要があると考えます。

①公共施設の現況及び将来の見通しとして、今後40年間で必要となる費用の試算額(公共建築物・道路・橋梁・上下水道等含めて)をお尋ねいたします。

次に中津川市総合計画の基本構想のなかで『健康に暮らせるまち・災害に強い安全なまち』を推進しております。特に健康に暮らせるまちづくりは、市民アンケートにみる、重要施策の課題として取り上げられており、地域医療の現状と充実・市民病院の現状と充実が中津川市民にとってニーズの非常に高い関心のある項目となっています。このようなことから中津川市総合計画基本構想に基づいた、病院建設計画を進言するものであります。

②中津川市民病院は、平成元年の竣工であることから、病院施設・設備の老朽化・旧式化により様々な不具合が生じているとの話を聞きますが、どのような状態か又過去5年間の修繕費用はどのくらいかお尋ねいたします。

③中津川市民病院は東濃地域の地域災害医療センター(災害拠点病院)に指定されているが、施設面として、さらに充実しなければならない設備として考えられる面をお尋ねいたします。

令和8年に、中津川市民病院は、法定減価償却期間である39年を迎えることとなります。

国立社会保障・人口問題研究所の推計調査によれば、中津川市における高齢者人口は、65歳以上であっても、令和2年度をピークに下降傾向になるなど、中長期で見た病院需要は必ずしも右肩上がりではありません。将来人口を見据えた病院設計は、少子高齢化が前提になるとはいえ、当市の人口推計を見越した病院の、今後の整備方針の検討時期にきていると言えます。

平成25年に2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されることが決定されてから、建設にかかる総コストは、資材高騰や人件費の高騰を理由として増加傾向にあります。

特に、医療や福祉関連の建設単価は、この5年で約1.5倍に膨れ上がったという調査結果もあります。この建築ラッシュは、2020年を峠に多少は落ち着くこととされていますが、この2020年の峠を越えるのを待っている公共施設建替案件や、2025年大阪万博に関連する建築需要が控えているともされており、建築コストがどれほど落ち着くかは未知数です。そのためにも重要なのは、中津川市として病院のあり方をどのようにしていくのか、これを最重要課題として検討するために、病院施設のあり方を検討する

委員会を設置して、この問題の先送りをしない断固たる決意のもとに、結論を導く必要があります。また、東濃医療圏を基準とした医療需要だけでなく、最新の高度医療技術を有する病院を誘致した場合のシミュレーションも机上にあげて、市民の命をどう守っていくかを検討する必要があると思います。仮に病院の建て替えを行うことになった場合には、市民の皆様との対話のための説明会の開催やプロポーザル、基本設計から実際の建て替え工事まで、少なくとも5年以上の年月を要するものであります。特に市民の命を預かる市民病院については、市民の皆さんの不安が大きくなる前に、市として、しっかりとしたメッセージを発信することが、市民の皆さんへの責務であると考えます。最後の質問になります。

④中津川市民病院は、冒頭申し上げました法定減価償却期間である39年まで、あと7年ではありますが、これ以上に問題の先送りをしないためにも、市としてこの病院建替問題に関する結論を導くデッドライン、締め切りを決めた上で、しかるべく意思決定の権限を持った機関の設置が必要と考えます。執行部のお考えをお聞きしたいと思います。

以上

## 2. 児童虐待防止施策の充実について

### (1) 児童虐待防止施策の充実について

大項目 2 番目の児童虐待防止施策の充実について質問をさせていただきます。この質問は 3 月議会において田口文数議員が質問されております重複しないよう、視点を変えて質問させていただきますのでよろしくお願い致します。

今般、テレビや新聞などでも多数報道されているように、乳児や子どもに対しての暴行が行われ、死に至らしめる残忍な事件や、育児放棄をして死なせるといった、虐待の事件が注目を浴びており、多くの幼い命が、罪もなく犠牲になっていることに大変心痛ましております。

認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワークによれば、児童相談所における児童虐待相談対応件数は、統計のある平成 2 年度から右肩上がりが増えてきており、平成 2 年の 1, 101 件から平成 29 年度の 133, 778 件に至るまで、28 年連続増加し、100 倍を超えております。また、虐待による死亡事例は年間 50 件を超え、1 週間に 1 人の子どもが命を落としている計算となり、この状況は看過できないものであります。

行政はこれらの問題の対策を立てていますが、これまでの対策や予防の効果が発揮されているのかどうかを、含めて検証する時期にきていると考えます。特に、虐待は発生してしまってからでは遅いと考えております。児童虐待の『発生予防』を最重要視する政策が必要であると考えます。

現在中津川市においては、「第二期中津川市安全安心まちづくり基本計画」の中で、中津川市におけるいじめ防止等のための基本的な方針（平成 27 年 4 月から平成 38 年 3 月）を策定しております。児童虐待を、減らすための効果的な施策が必要であり、そのためにはこれまでの対策が十分だったかどうか全て見直す必要があると考えております。

児童虐待問題にあたっては、行政だけでなく民間との連携も必要です。民間との児童虐待、事案などの連携に際しては、プライバシー・個人情報への配慮などの課題がありました。

しかし、民間団体による児童虐待の早期発見、早期相談、早期対策といった事案が他自治体などでも報告されるなど、民間による啓発活動との連携を具体的に考える時期に来ていると言えます。早期発見を促す児童虐待通報の仕組みについては、それを前面に出すことによる児童虐待発生抑制効果もあるとされることから、市としても、児童虐待の通報を推奨するしっかりとした、キャンペーンを行い、中津川市から児童虐待を追放する、しっかりとしたメッセージを発信することが重要ではないでしょうか。また、3 月議会の答弁において学校内アンケートを各学期ごとに行なっているということでありました。

ただ、他地方の、報道においては学校内アンケートの結果についてはプライバシーが守られると書きながらも、実際は虐待をしている親にフィードバックされるという事案が報道されました。

こういった報道から、児童が自ら虐待を申告しなくなる、萎縮するケースも今後でてくるのではと考えており、憂慮すると同時に、対策が必要になると考えております。

質問に移ります。

①平成30年度の中津川市における、児童虐待の通告件数、ならびに虐待として対応したケースとその内訳についておたずねいたします。

②中津川市も県と協力して、児童虐待の通報を推奨するキャンペーン行っていますが、こうした活動が、周りからの監視の目が増え、児童虐待発生の抑止効果があるとされることから、本市においても児童虐待発生の抑止効果を狙った児童虐待の通報を推奨するキャンペーンの拡充をしっかりと行なっていただきたい。そして中津川市から児童虐待を追放する、根絶するしっかりとしたメッセージを発信することが重要だと考えますが見解をおたずねいたします。

③国では虐待防止法改正案の令和元年6月中旬成立を目指し再発防止に努力されている。さらに『令和元年五月九日に学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き』として文部科学省から配布されていると思いますが、教育長の所見をお尋ねいたします。

④児童虐待の問題は余談が許されない状況が続いております。

児童福祉法改正で、市町村に妊婦期から子育て期までの支援をする、子育て世代包括支援センター設置の努力義務を定められています。

さらに軽微な虐待事案は、児童相談所から市町村に委ねられるようになりました。

また市は乳幼児検診や、母子保健事業など行っており、虐待リスクの高い家庭を、把握し易い立場にあります。

当市もすでに『児童虐待対応マニュアル』を作成されておられますが、私が拝見させていただくなかでは、職員用の講習マニュアルに近いものとしてみました。

**市民の皆さんには、少し解りづらい面が多く見受けられ、特に子どもの生命に危険が感じられるような、一刻を争う場合に活用しづらいと思います。**

是非とも、六月の虐待防止法改正後にはさらなる内容を充実していただき、

多くの市民の方々に活用していただけるような、『中津川市版の児童虐待防止・対応マニュアル』の充実が急務だと思います。どの様にお考えかお尋ねいたします。

以上

令和元年6月議会一般質問（要旨）

市民ネット 黒田ところ

## 1、坂本こども園について

坂本幼稚園、坂本保育園が一つになり、新しい場所で新たなこども園として令和2年春の開園めざして、園舎の建設や敷地整備、関連道路の建設整備が進められています。

中津川市の公立として初めての幼保連携型のこども園となるため、保護者の方に期待や不安の声も聞かれます。

そこで以下の点について質問をします。

（1）定員120名となっています。しかし、現在の坂本幼稚園と坂本保育園の在園児童数があります。そこで来春開園に向けての具体的募集人員等について具体的に質問します。

- ① 幼保連携型の幼稚園型、保育園型との別で募集をされますか。
- ② 年齢別で具体的募集人数はどうなりますか。
- ③ 支援クラスの定員はどうなりますか。

初めてのこども園という事で、募集の方法や時期について気にされている保護者の方もお見えです。

- ④ こども園園児の募集開始はいつからですか。
- ⑤ こども園園児の募集方法はどのような方法になりますか。

（2）中津川市はもともと保育士等の募集の際には、保育士資格と幼稚園教諭資格の両方を所有してみえる方を採用してきていると思います、しかし、実際の勤務では今までは、保育園、幼稚園の別がはっきりしています。幼保間で職員の交流もしてきていると聞いていますが、初めてのこども園という事で、特に現在年中・年少のお子さんの保護者の方には、子どもたちの環境が大きく変わる中、今まで坂本幼稚園や坂本保育園でお世話になって子どもたちを知っていてくれる顔見知りの先生が見えるかどうかなどの先生の体制も気にかけてみえます。職員体制についての質問をします。

- ① 園長先生以下、主任等の正規職員の配置人数は何人ですか。  
幼保の別があれば分けて教えてください。
- ② 嘱託職員の先生、常雇の先生、日々雇用の先生等を予定していますか。  
それぞれの人数はどうなりますか。日々雇用など流動的な人員は見通しとしての人数を教えてください。

- ③ 支援クラスの先生は何人で正規の職員ですか。
- ④ 給食やその他の職員人数とその雇用形態の別を教えてください。
- ⑤ 従来の坂本幼稚園、坂本保育園からそのまま移動される先生はそれぞれ何人いますか。正規職員以外がおみえなら、雇用形態別に教えてください。
- ⑥ こども園に勤務される先生で、従来の坂本幼稚園・保育園からの先生以外で、幼保交流勤務を経験されてからみえる先生は何人ですか、雇用形態別があればあわせて教えてください。
- ⑦ 全体として職員確保の見込みはどうなっていますか。

## 2、保育士の確保について

坂本こども園での保育士、また中津川市全体での保育士不足など話題になることも度々です。保育士として働くにも、賃金等の問題があるという話も聞きます。そこで次の質問をします。

- ① 現在の常雇保育士の時給はいくらですか。
- ② 直前の時給単価引き上げの時期はいつで、引き上げ額はいくらですか。
- ③ 保育士として公立保育園に復職を希望される個人に向けての施策はありますか。ちなみに私立幼稚園教諭の復職に向けて支援金の助成が、H31年度予算では60万円組まれています。
- ④ 恵那市では、保育園等は指定管理だと思いますが、中津川市の常雇にあたる雇用形態の場合の時給単価はいくらですか。
- ⑤ 保育士の不足に対して、具体的な対応策をされていたら教えてください。

## 3、坂本小学校の教室不足解消と給食調理場の新設について

来春、待ちに待った坂本こども園の開園です。坂本保育園・坂本幼稚園の老朽化、未耐震などの問題がこれによって解消されます。しかし、忘れてはならないのが、この移転新築のことの始まりです。それは今から10年以上前に、坂本小学校の教室不足が問題となり、子どもたちの教育環境の改善を坂本まちづくり協議会文教部会で主要課題として取り上げてきました。2008年の一般質問でもこの問題を取り上げました。地元として課題に取り組む中で、前述の老朽化、未耐震の問題を抱える幼稚園・保育園を移設し場所を小学校隣接に確保して、教室の増設や、小学校・中学校の給食室老朽化やドライ化などの必要も話し合わせ、実際の増築した場合の教室構成、特別教室をどう配置するかなど、教育委員会の方も一緒になって情報を提示していただきながら話し合われてきました。

そのための土地確保に、まず、幼保移設新築という事になったのです。

やっとその前段の問題がクリアできました。その後リニア関連の道路など計画が上がってきて、坂本小学校校門前で新設の道路が新たに交差するという事になってきました。また、リニア駅などにより今まで以上に地域の南北が分断されることが見込まれます。

しかし、現在も教室不足は解消されていません。中津川市総合計画中期事業実施計画に、坂本小学校の教室と給食調理場は組み込まれています。もちろん地元坂本での話し合いは今まで以上に必要となってきますが、市の考えをお聞きしたいと思います。

以下質問します。

- ① 現在の坂本小学校の教室不足については、具体的にいくつ不足ですか。  
普通教室。特別教室の別でお願いします。
- ② 今後の坂本小学校に通学する子どもの人数の変化はどのように予測してみえますか。
- ③ リニア関連道路の計画から、小学校の校門となる位置が交通量から危険になると見込まれます。校門の位置の変更や小学校への進入路の在り方など考える必要になると思います。また増築校舎の他に、場所を考えての校舎全体の建替えもあるかと思っています。どのように考えていますか。
- ⑤ 坂本小学校・坂本中学校の給食調理場の建替えも、衛生面からも具体的に早急に進める必要があると思います。どのように考えてみますか。
- ⑥ 現在、中期事業実施計画にはありますが、現在わかっている、今後の具体的な流れとその時期を教えてください。

#### 4、通学路の安全について

通学時の子どもの列に突っ込んだり、信号待ちで突っ込んできたりと、昨今、予測不能の交通事故が絶えません。特に坂本地域は、リニアによる駅周辺の開発整備、濃飛横断自動車道、東濃東部都市間連絡道路など様々な工事が始まります。当然親さんたちや地域の方々の心配は、子どもたちの通学路の安全です。特に坂本小学校の校門にぶつかるようにして道路が出来てきます。また、あるタクシードライバーの方が、もうすでに中津川市や恵那市でよそからのダンプなど増えていて、地元の道路事情が分からないドライバーなので今までより注意が必要だと話して見えました。いつ工事がどのように始まるのか。当然工事が始まる前には、それぞれに地元説明会が開かれると思います。

それをふまえて質問します。

- ① 坂本地域での各工事の具体的開始月、特に今年中にわかっている分があれば教えてください。
- ② 従来の説明会の開催時期より少し早めて、当該地元だけでなく、PTAや地元関係者、見守り隊の方々など、具体的に通学路にかかわる関係者への説明会を開催することで、安全対策

など具体策を対応できる時間が必要かと思えます。市としてどのように考えますか。

- ③ そのような説明会はそれぞれの工事や工事区間でおこなわれていると思えます。  
様々な工事がその都度おこなうことも大切ですが、例えばある工事の説明会には、是非その周辺の通学路にかかる工事の他社の担当者の方々もその説明会を聞きに来ていただき、通学路の安全に向けての情報の共有をしていただくことも大事ではと考えます。  
市としては、どのように考えますか。
- ④ 坂本だけでなく、瀬戸や山口といったところでは、既にリニア関連の工事が始まりダンプの通行量も確実に増えていると思えます。特に、子どもの通学路周辺での交通量の変化等つかんでいますか。
- ⑤ 今後必要に応じて交通量の調査も必要になると思えます。交通量調査実施に向けて市に計画はありますか。または、JRや県などに依頼する計画はありますか。

## 1. 最近のその他火災の発生状況と対策について

### (1) 直近の火災発生状況について

気象状況が異常とも言える今日この頃、野焼きなどから林野火災やその他火災が連続して発生、被害額も大きくなっているやに推測します。

空気が乾燥し突風も予測され、極めて火災が発生しやすい状況下での野焼きなどは、想像以上に危険な行為であり、誰もが注意をして、火をつけない！出さない！の予防消防にしっかりと取り組んでいくべきと考えます。

消防本部としても、こうした状況下において、市民への注意勧告などを行っていることは承知していますが、更なる意識高揚の為の施策、また、被害を拡大させない為の事前対策などについて以下質問をいたします。

#### ○ 具体的な質問

- ① 今年の4月、5月における火災発生状況と前年同月との比較値は。
- ② これらの火災の原因(出火原因)は。
- ③ この状況をどのように捉え、どのような対策を講じていこうとしていますか。

### (2) 火災予防と今後の対策等について

消防本部には無人航空機(ドローン)が数台整備されていると聞き及んでいます。ドローンを用いた災害防除や迅速な消火活動等の研究と普及に取り組んでいる自治体や大学、関係団体の記事をこの頃良く目にします。

消防本部での整備目的、経緯、そして事前での消火活動の対策を練るお考えなどについて伺います。

#### ○ 具体的な質問

- ① ドローンの整備(設置)状況は。
- ② ドローンの専属(担当)操縦士の有無は。

- ③ 操縦士の資格要件は。
- ④ これまでの災害等への出動状況は。
- ⑤ 今後の配備計画などは。
- ⑥ 災害防除、消火活動などの他での有効利用策の検討は。
- ⑦ ドローン操縦士の資格取得講習会の検討は。

## 2. 当市の自然環境と再生可能エネルギー発電事業について

### (1) 中津川市総合計画・中津川市の姿について

普段から見慣れた山林が突然、伐採されはじめ、あれあれと瞬く間に太陽光パネルの設置が始まりました。

地元区長さんへは開発業者から「地元民への回覧」文書なるものが持ち込まれただけで、地元民への説明会は未だ開催されてない状況だと聞き及んでいます。

現場では雨水などによる排水処理工事も行われないうままに急峻な地形から流水被害も心配されるほか、太陽光パネルの熱による影響も心配されます。また、現地は山林の間を道路がはしり大自然を実感できるスポットでもあっただけに、突如として変わってしまった光景は極めて異様であり、にわかには受け入れがたい状況です。

こうした現況は、総合計画にもある当市の素晴らしい自然環境を破壊しかねない極めて重要な問題であり、当市の魅力であり世界に向けて発信している美しい森林の景観が損なわれてしまいそうで大変危惧します。

太陽光発電に関連する質問は、これまでも何度となく行われていますが、同趣旨の心配や地元との揉め事は後を絶たないのが現況です。そうした現況を鑑み将来に向けての対策を講じて頂きたいと以下質問をします。

○具体的な質問

- ① 基本構想の5 めざすまちの姿 (2) ②きれいで豊かな自然を守るまち「自然環境保全」の主な内容でいくつか列記されていますが・【森林整備による地球温暖化防止】とあります。自然環境保全・森林整備の具体的な取組は。
- ② 同じ項 再生可能エネルギーの推進の中で 太陽光発電の推進とあります。前述の現況からすれば、自然環境の保全と太陽光発電の推進は相反しているように思われますが整合性は。

(2)中津川市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例について

本条例は、中津川市環境基本条例第3条の規定と再生可能エネルギー発電事業との調和を図るために必要な事項を定めたものと承知していますが、具体的な取組等について伺います。

○具体的な質問

- ① 条例は平成29年4月1日より施行されていますが、この後太陽光開発に関係すると思われる届け出の数は把握していますか。
- ② 基本となる面積が1,000平方メートルとなっていますが他市の状況は。
- ③ そもそも1,000平方メートルとした根拠は。
- ④ 前述の現場の伐採面積は約6,000平方メートルに及ぶと目測されます。道路を挟み1,000平方メートル未満で2ヶ所2筆にわけて行われていると聞きましたが、伐採面積からみれば明らかに太陽光発電設備の追加設置が可能な状況です  
条例の第2条、第4条及び第13条以下の定めにより適正に指導監督はできないものか。

(3) 現況を踏まえた今後の対策について

当市における現況は乱開発と思われるぐらいの状況ではないかと危惧されます。法にのっとり正当な開発をされている業者、また地元からの要望等を受け入れ積極的に取り組んで頂ける地元業者もあれば、逆に地元民を全く相手にしない業者も混在しています。

発電機設置後に第三者へ転売したり(管理者不明)、周辺の森林を伐採しっぱなし、或いは切土、盛土、埋土などやりっぱなしの状態もあるようで、このままでは当市の大自然を守り切れない状況に陥ってしまう心配も出てきます。そこで今後の対策等について伺います。

○具体的な質問

- ① 地元民が納得し土地が荒廃しない開発、設備設置への指導監督の考えは。
- ② 太陽光発電パネルの耐用年数はおおよそ10年から20年と聞きます。耐用年数が切れてしまった設備をそのまま放置していくことも予測されます。こうしたことへの対処、対策は。
- ③ 現況を憂いて国のガイドラインに沿いつつ1000平方メートル以下の届け出業者と既存の設備設置業者等への指導監督、是正勧告などを講じていく考えは。